

経営発達支援計画

令和3年度伴走型小規模事業者支援推進事業

コロナ禍における施策・支援要望調査 地域経済動向調査レポート

～京丹後市版～

(令和3年4月～令和3年6月)

京丹後市商工会

コロナ禍における施策・支援要望調査

～労働環境調査(月給／賞与編)～

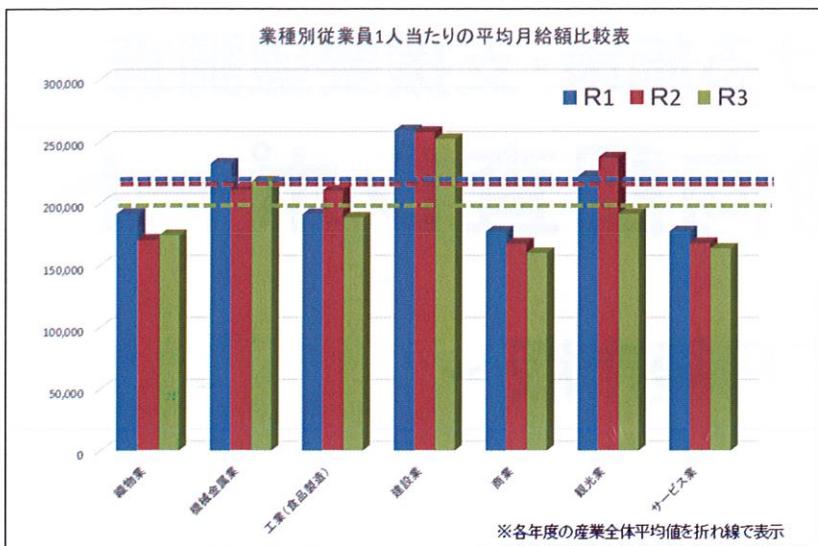
令和3年9月1日

＜調査概要＞

【調査目的】業種・個社毎の労働環境調査を地域経済動向調査と併せて実施することで、事業者との関わり頻度を増やし、労働環境に沿った施策活用提案など支援の依頼機会の創出を目的として実施するものです。

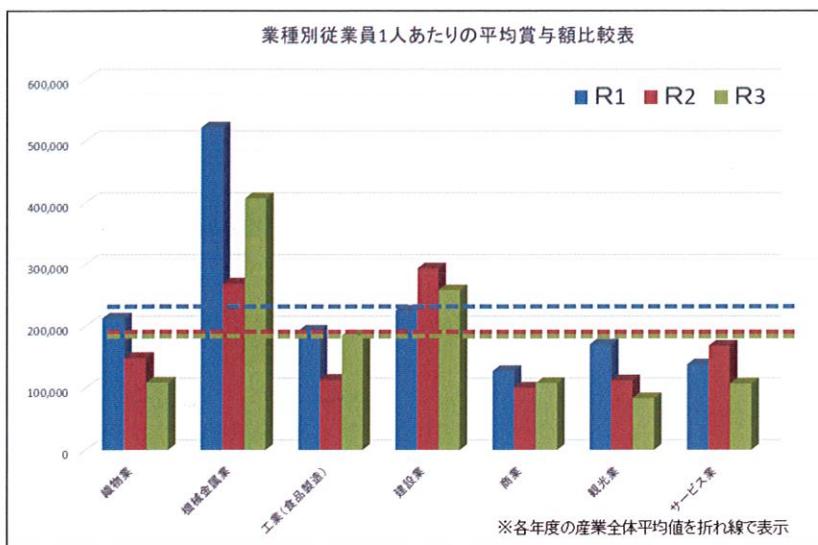
【調査対象】地域経済動向調査を実施している小規模事業者101件のうち、従業員有する事業所

【調査方法】当商工会経営支援員による巡回ヒアリングによる調査



◆月給額(有効回答数 69.3%)

産業全体で前年対比-11,321円と大きく減少した。業種別においても格差が広がり、特に観光業においては-45,000円超といった結果となった。新型コロナウイルス感染症の影響を直接的に受けた業種に大きな減少が見られると共に、当該業種と密接な関連がある工業(食品製造)においても大きな減少が見られた。



◆賞与額(有効回答数 73.3%)

産業全体では前年対比-3,244円と微減あった。<月給額>と同様に業種によって格差の広がりが増加してきている傾向がみられ、特に機械金属業においては、回復基調にある半導体関連等の受注増から大きな増加となったと窺える。何れにしても、<月給額>に比べて大きく減少する平均額を、機械金属業が押し上げたかたちとなった。

また、支給額が「0円」と回答した事業者は、昨年の3事業者から30事業者と10倍となった。

地域経済動向調査レポートー京丹後市版ー

～昨年同時期との比較で大幅な改善示すも依然懸念材料もあり地域全体で疲弊する市内小規模企業～ 令和3年9月1日

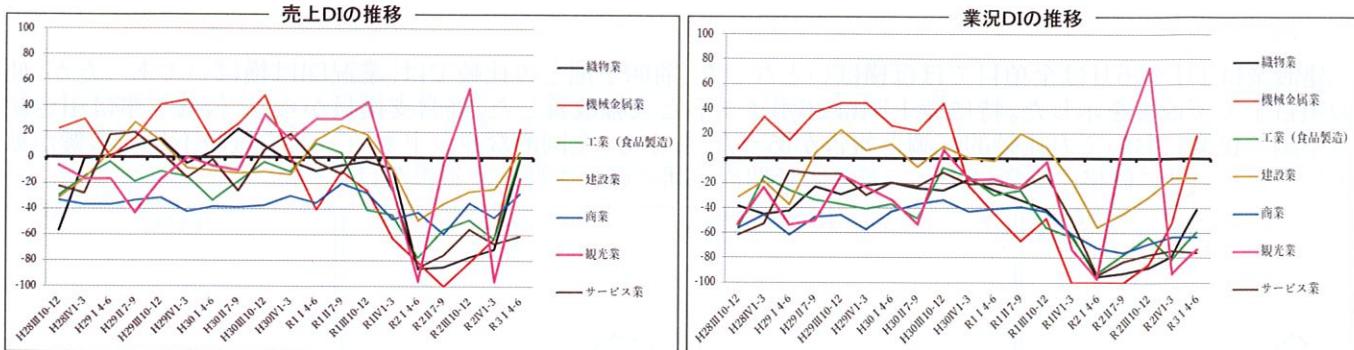
＜調査概要＞

【調査対象】地域内の小規模事業者等101件 【調査期間】2021年4月～6月

【調査方法】当商工会経営支援員による巡回ヒアリングによる調査票への選択記入式

＜産業全体＞ 昨年同時期との比較で大幅な改善示すも依然懸念材料もあり地域全体で疲弊する市内小規模企業

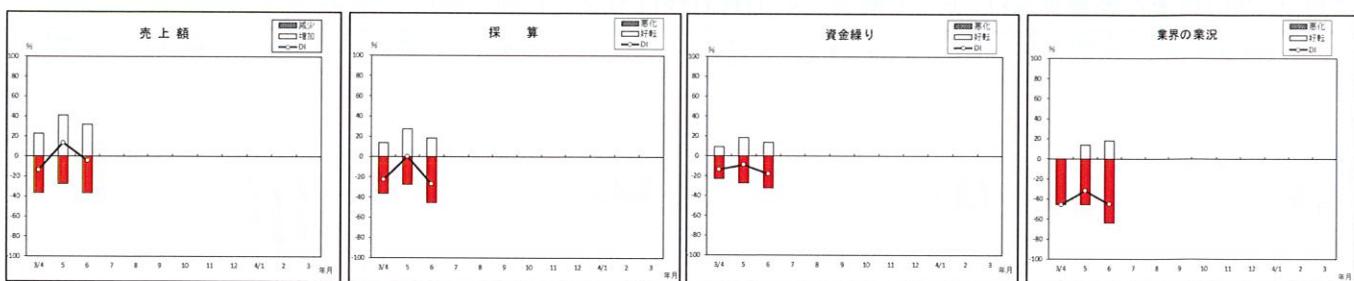
4月～6月の市内小規模事業者経済動向調査は、売上DIが16ポイント悪化したものの、他の項目は横ばいでいた。前四半期との比較では、製造業と建設業が改善幅を牽引し、全ての項目で15ポイント以上大幅な改善を示した。しかし、全体的に緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の延長等により、自粛ムードが強い。ワクチン接種等で経済回復の声もあるが、インド型(デルタ株)等の変異種の懸念もあり、引き続き景況感を左右すると思われる。



※上記グラフは、過去の四半期毎の該当DIの平均値を算出しグラフ化したもの

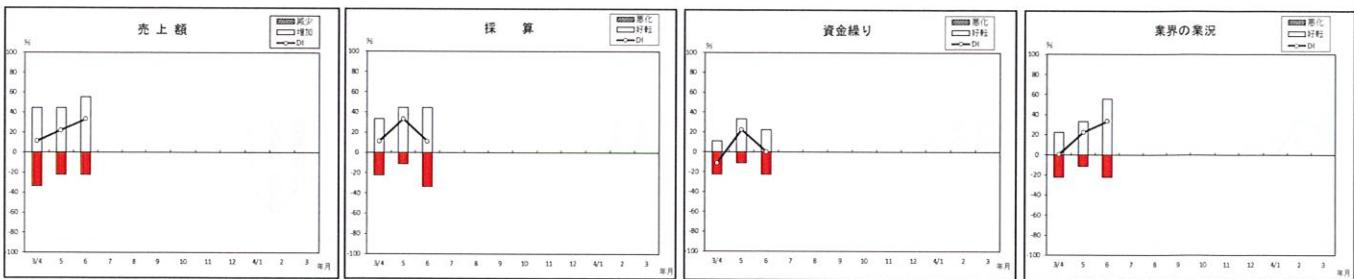
織物業 改善示すもコロナ禍前の水準には程遠く厳しい状況続く織物業

織物業は、6月に入り全ての項目で10ポイント程度悪化を示した。一方で、前四半期との比較では、全ての項目で20ポイント以上といった大きな改善を示した。経営支援員からは、昨年の経済活動がほぼ停止した時期よりは良い程度で、利益が確保しにくい低級品の発注が多い。全体的にコロナ禍前の水準にはほど遠く、依然厳しい状況が続いているとの報告があった。



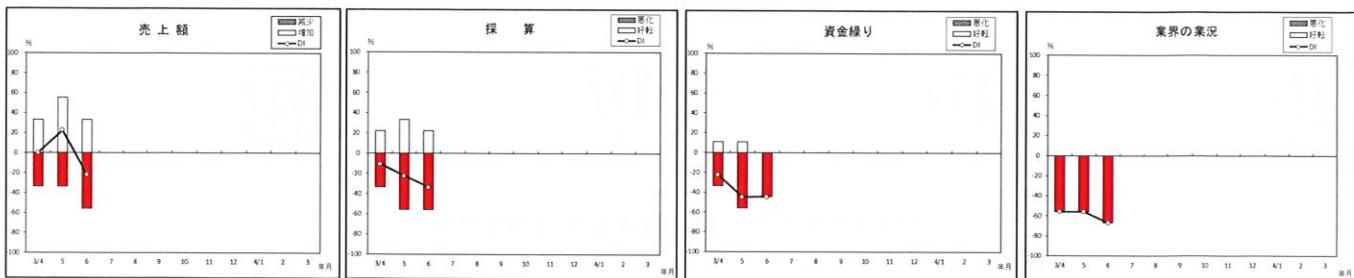
機械金属業 大幅改善示すも懸念材料多く先行き不安な機械金属業

機械金属業は6月に入り、採算DIと資金繰りDIが僅かに悪化したものの、売上DIと業況DIは10ポイント以上2ヶ月連続の改善を示した。前四半期との比較でも全ての項目で40ポイント以上大きく改善した。経営支援員からは、半導体関連や医療衛生分野等が好調である一方で、国内外の需要停滞や原材料の価格高騰、調達難等もあり先行きを不安視する声が目立った。



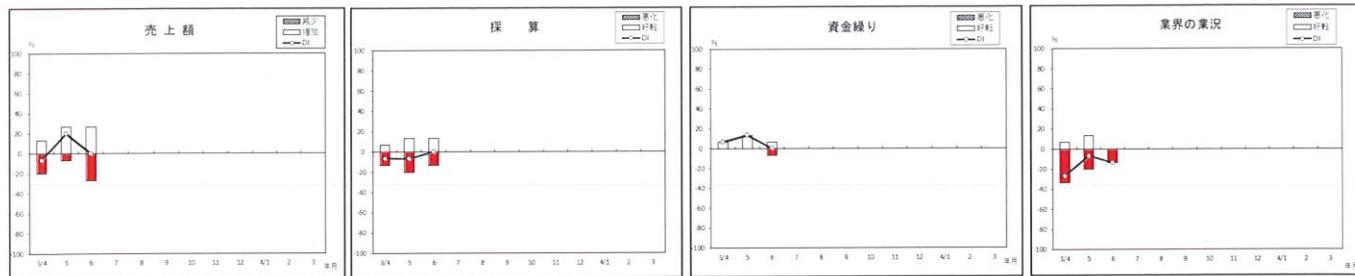
工業(食品製造) 前四半期と比べ改善示すも飲食店の時短・休業の影響が大きい工業(食品製造)

工業(食品製造)は、6月に入り、売上DIは40ポイント、採算DIと業況DIは11ポイント悪化した。資金繰りDIは横ばいであった。前四半期との比較では、全ての項目で22ポイント以上の大きな改善を示した。経営支援員からは、巣ごもり需要により内食向け(ネット通販)は堅調であるが、飲食店との取引が多い事業者は時短・休業要請などの影響を受け、依然として厳しい状況が続いているとの報告があった。



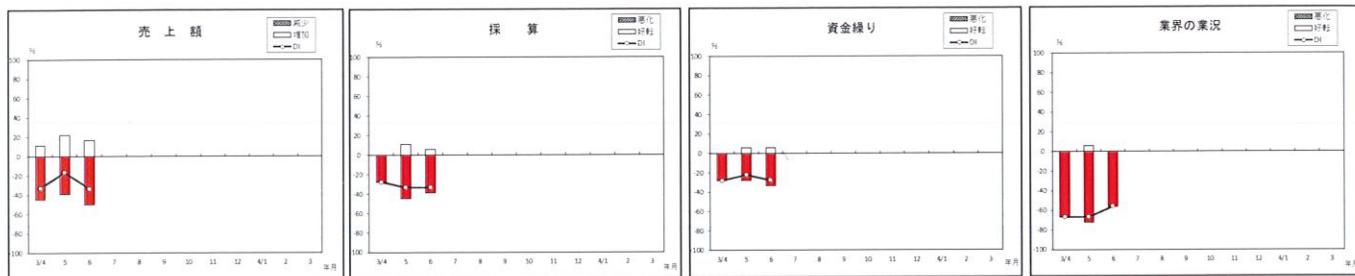
建設業 ウッドショックの影響が拡大傾向で先行き懸念される建設業

建設業は4月～6月は全項目でほぼ横ばいとなった。前四半期との比較では、業況DIは横ばいであったが、他の項目全てで改善を示した。特に売上DIは26ポイントと大幅改善した。経営支援員からは、公共工事は引き続き堅調で民需においても比較的好調と報告があった。しかし、全国的なウッドショックや資材不足の影響が拡大していると共に価格の高騰によって着工の延期や工期の遅れを懸念する声が目立った。



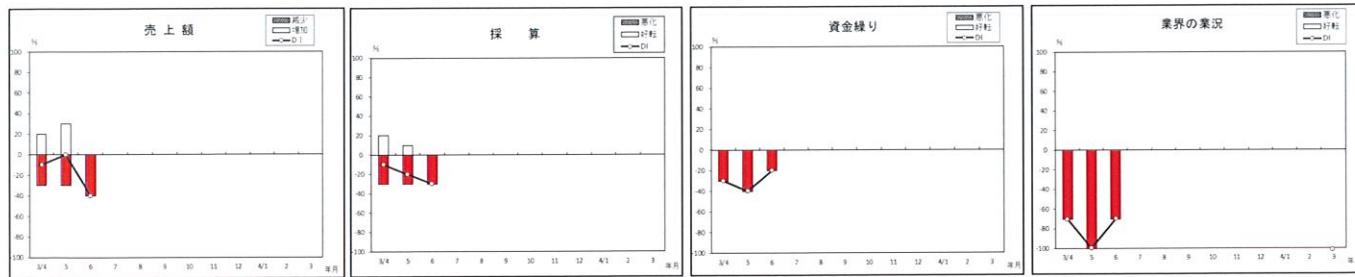
商業 一部で回復基調も好転材料が少なく足踏み状態の商業

商業は、4月～6月は全項目でほぼ横ばいの結果となった。前四半期との比較では、売上DI、採算DI、資金繰りDIは10ポイント以上改善したが、業況DIは横ばいであった。経営支援員からは、耐久消費材関連は、引き続きウイルス対策関連の機器等の購入や買替で堅調であるが、通販に需要が奪われているとの声や、衣料品関連も引き続き、外出自粛の影響を受け、ネット販売への消費者移行も見られ伸び悩んでいる。



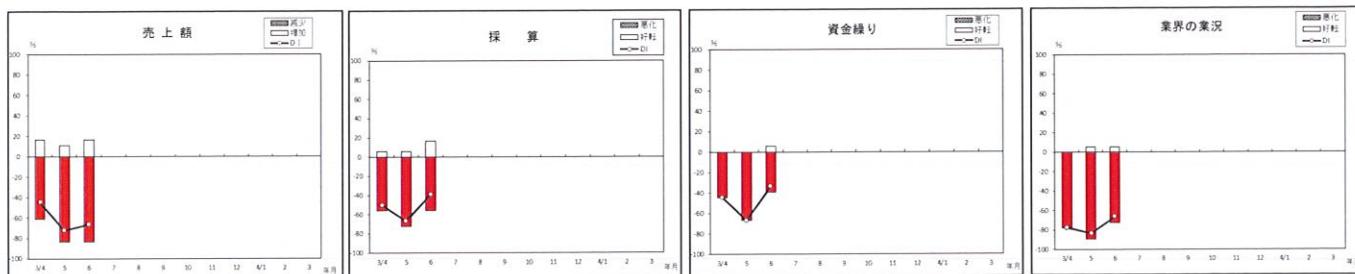
観光業 手厚い行政施策等で改善示すも依然低い稼働率が続く観光業

観光業は6月に入り売上DI、採算DIは10ポイント悪化したが、資金繰りDI、業況DIは改善を示した。前四半期との比較では全項目で20ポイント以上大きく改善を示すも何れも低水準を推移している。行政の支援策やワクチン接種の効果で今後の見通しも明るくなったとの報告があったが、あくまでも、危機的な状況であった昨年や前四半期との対比であり、依然予約のキャンセルも多いため、全体的に稼働率が低い状況が続いている。



サービス業(飲食店) 度重なる時短・休業要請で苦境が続き疲弊するサービス業

サービス業では6月に入り、全ての項目で10ポイント以上改善を示した。前四半期との比較では、売上DIは5ポイント、採算DIは15ポイント改善し、資金繰りDIは横ばい、業況DIは2ポイント悪化した。経営支援員からは、本来行事の多いシーズンであるが、時短・休業要請などで自粛傾向が強まっており、苦境が続いている。全体的に精神的にも体力的にも疲弊しているとの報告があった。



京丹後市商工会 経営発達支援計画推進室

〒627-0012 京都府京丹後市峰山町杉谷836-1 TEL:0772-62-0342 FAX:0772-62-3553 担当:田中勝茂